

決議

大正十三年十月及大正十四年三月海軍労働組合聯盟會議
 ニ於テ決議出願ニシテ問題ニ関シテハ吾人ハ海軍當局ノ理解
 ト聰明ニ信頼シテ主レク解決ヲ期待スルハ出願後前若
 ハ已ニ二年有半歳ニ及ラトモ未ダ一トシテ合理的解決ヲ共
 ラレリテ類ル遺憾トシテ彼ノ出願事項ニ對スル海軍當局ノ意
 圖カ略ト推知セラレリルニキレラレシオラシク言明ラシテ或
 調査ニ藉クテ挫折之ヲ解決ヲ遷延セラルハ吾人カ期待ラズ
 切為メ三人ハハ動搖ニ進イテハ國家産業ノ進展ヲ阻礙スル
 憂テ之能ハサルヲ憾ム彼ノ八時間労働制或ハ共済組合年金
 制度ノ改訂其他吾人ノ要求ハ公正ニシテ其大部分ハ議論余地
 ナキ所ニシテハ海軍當局ノ英断ト聰明ヲ以テセバ立テ解決スル
 ハ尙ホ未ダ疑ラ容ルハ能ハサル所ナリト確信ス吾等カ労働團休ヲ設
 立シテヨリ已ニ數ヶ年其間吾等々々海軍労働組合ノ行動ハ穩健
 ニ而テ着實ニシテ階級主義ヲ以テテ歩ミテ進メ常ニ協調ヲ保持
 シテ平和ニ公献シ来リ聊カ海軍工業ノ盡ク進メテハ賢明
 ナル當局カ已ニ業ヲ諒知セラル所ナリト思惟ス然ルニ當局カ吾等
 ノ公正ナル要求ヲ輕視或ハ遷延過服ト去ラントセラルカ如キ遺憾
 ノ極ニナリ故ニ吾人ハ三度ヒ當局ノ聰明ニ訴ヘテ適當ナル解決ヲ